

授業科目：看護の特性論★		講師名：堀内 吉美 看護師	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期Ⅰ年生前期
【科目目標】 1. 「看護とは」について考え、自分の考えを持つ。 2. 看護の歴史について知り、現在を考える。 3. 健康の概念について理解を深める。 4. 人間についての理解を深め、人間を統合体として理解するということの意味が分かる。 5. 社会における看護の位置づけ、多職種との協働、看護の役割と機能について考える。			
回数	講義内容		学習方法
1	看護とは 看護の学習について 4つの思考リテラシー		講義 GW
2	看護の過去から現在まで		講義 DVD視聴
3	看護実践における重要な概念人間について考える健康について考える 「人間」について考える 「健康」について考える		講義 GW プレゼンテーション
4			
5			
6			
7	看護であるもの・ないもの		講義 GW
8	フローレンス・ナイティンゲール		
9	看護の機能と役割		講義 GW
10	看護倫理とは 価値、倫理の原則・倫理的判断の基準 看護職の倫理綱領(日本看護協会)・ICNの看護師の倫理綱領		講義 GW
11			
12			
13	専門職としての看護		講義 GW
14	専門職連携(IP)の基本となる考え方		講義 GW
15	終講試験		
【教科書】 系統看護学講座 専門 看護学概論 基礎看護学Ⅰ 医学書院 フロレンス・ナイチンゲール著 小玉香津子・尾田葉子訳；看護覚え書き-本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験：100点 提出レポート・授業態度(グループワーク)含む。			

授業科目： 看護の探究Ⅰ★		講師名 宮崎 悦子 看護師	Ⅰ 単位 16 時間 履修時期 Ⅰ年生前期
【科目目標】 1)ヘンダーソンの看護観を理解する 2)グループの中で自己の考えを表出する姿勢を身につけ、他者に発信できる			
回数	講義内容	学習方法	
1	看護と看護論の関係	講義	
2	「看護の基本となるもの」抄読会オリエンテーション	講義	
3	ヘンダーソンの伝えたい看護とは何か、を整理する。	GW	
4			
5			
6	著者の看護観の理解・発表 全体まとめ	発表会 まとめ	
7			
8	終講試験		
【教科書】 系統看護学講座 専門 看護学概論 基礎看護学Ⅰ 医学書院 ヴァージニア・ヘンダーソン,湯楨ます・小玉香津子訳.看護の基本となるもの：日本看護協会出版会．			
【参考書】 野嶋佐由美編.看護学の概念と理論的基盤：日本看護協会出版会． 佐藤栄子編著.事例を通してやさしく学ぶ 中範囲理論入門：日総研．			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験（80点）＋ グループワークの取組みに対するピア評価（20点）＝ 100点			

授業科目：看護倫理と安全Ⅰ★		講師名：堀内 吉美 看護師	Ⅰ 単位 16 時間 履修時期	2年生通年
【科目目標】				
1 看護倫理について基本的な知識と倫理的意思決定について理解する。				
2 看護師に求められる倫理的判断について考える				
3 看護師の倫理的責任と法的責任について理解する				
4 看護の場で生じやすい倫理上の問題について考え論じ合う				
5 技術として安全管理（事故防止）の視点をもつ				
回数	講義内容			学習方法
1	看護倫理とは			講義・GW
2	看護倫理 1) 看護の専門職業人としての法的な義務と責任 2) 人間の生命の尊厳と権利の尊重 意思決定者 対象者の権利の擁護者（アドボケート） 3) 看護者のアドボカシー 4) 相互信頼関係			講義・GW
3				講義・GW
4				講義・GW
5	看護学生が看護倫理を学ぶ必要性			演習
6	ヒューマンエラーの特性と防止 患者の誤認・誤薬・ライントラブル・転倒			講義・GW
7	組織としての事故防止対策 インシデントレポート			講義・GW
8	終講試験			
【教科書】				
系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院 系統看護学講座 医療安全 医学書院				
【参考書】				
【使用予定視聴覚機材】				
PC、プロジェクター				
【評価方法】				
筆記試験および出席状況、提出レポートを総合して評価 合計100点				

授業科目：看護倫理と安全Ⅱ★		Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 3年生通年	
内容	医療安全	講師名：光武 智子 看護師	
【単元目標】 医療現場で起こりうる危険性を理解し、対象および家族に安全な看護を提供する方法を理解する			
	講義内容	学習方法	
1	医療安全とは/医療事故とヒューマンエラー	講義	
2	事故による影響を最小限にする行動とは/医療事故調査制度	講義	
3	転倒・転落対策	討議	
4	こんなときどうする？臨床で出会いそうな場面への対応術を考える	GW	
内容	感染予防	講師名：宮崎 利恵 看護師	
【単元目標】 医療現場で起こりうる感染の危険性を理解し、対象および家族に安全な看護を提供する方法を理解する			
1	感染法規	講義	
2	医療現場における感染予防の実際 1) 個人防護具の着脱	講義・GW	
3	2) 洗浄・消毒・滅菌とは 3) 感染廃棄物の適正廃棄		
4	4) 針刺し・切創対策 5) 感染予防対策（血流対策・尿路感染・術後感染）		
5	終講試験		
内容	看護倫理	講師名：専任教員全員 看護師	
【単元目標】 実習中に経験した倫理上の問題(ヒヤリハット事例を含む)について考え論じ合うことで倫理・医療安全問題について理解を深める。			
1	自分たちが経験したヒヤリハット(インシデント)・倫理的ジレンマの事例検討		GW
2			GW
3			GW
4			GW
5			GW
6			GW
【教科書】 系統看護学講座 看護管理 医学書院 系統看護学講座 別巻 看護倫理 医学書院			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】			
【評価方法】 筆記試験(医療安全)35点 + (感染予防)35点 + (看護倫理)30点 = 合計100点			

授業科目:プロジェクト学習★ 講師名: 大本 奈美 看護師		Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 Ⅰ年生通年
【科目目標】 学生が自らの目標の達成において主体的に学習する方法を身につけることをねらいとし、さらに対象の学習を支援する技術を学ぶ		
回数	講義内容	学習方法
1	プロジェクト学習とは ～オリエンテーション、学習過程全体を把握する～	講義
2	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み① ～準備、「健康とは」を考える、成長確認(ポートフォリオ)～	講義 個人ワーク
3	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み② ～ビジョンとゴールを設定する、取り組み計画～	講義 個人ワーク
4	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み③ ～情報リサーチ(観察)思考プロセス、解決策 1～	講義 個人ワーク
5	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み④ ～情報リサーチ(観察)思考プロセス、解決策 2～	講義 個人ワーク
6	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み⑤ ～制作・プレゼンテーション～	講義 個人ワーク
7	学習支援の方法 ヘルスビリーブモデル	講義 個人ワーク
8		
9	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み⑥ ～プレゼンテーション～	講義 個人ワーク 準備
10	プレゼンテーション	演習 ポスター発表
11	「大切な人の健康を守るプロジェクト」に取り組んだプロセス発表	
12	プロジェクト学習の各フェーズとその取り組み⑥ ～再構築～指導案作成	講義 個人ワーク
13	指導案の共有・発表	GW プレゼンテーション
14		
15	まとめ・終講試験	講義
【教科書】		
【参考書】 鈴木敏恵, ポートフォリオとプロジェクト学習, 医学書院, 2014. 鈴木敏恵, アクティブラーニングをこえた看護教育を実現する, 医学書院, 2017.		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 凝縮ポートフォリオ・成長報告書・プレゼンテーション (出席状況、講義中の課題提出も評価に含む) 50点+筆記試験50点=100点		

授業科目:看護の基礎技術 ★		I 単位 30 時間 修時期 I 年生前期
内容	安全安楽	講師名:瀬尾 要
【単元目標】 物理学から見た看護動作を理解する		
回数	講義内容	学習方法
1	力の基礎 ①ベクトルとスカラー ②力の合成と分解 ③患者の移動 ④絆創膏の剥がし方と包帯の巻き方	講義 ・練習問題を行う。 ・実験的要素を取り入れる。
2	運動とエネルギー ①作用反作用の法則 ②運動量と撃力 ③エネルギー保存の法則	
3	摩擦力および剛体 ①摩擦力 ②ナースシューズ ③トルクと腕の長さ ④剛体のつりあい条件 ⑤てこの原理の応用	
4	重心とその具体的解釈 ①各姿勢での重心位 ②看護の動作と脊柱への影響 ③腰痛の原因	
5	効率的看護動作 ①重心と安定性 ②看護での重心と基底面の確保 ③看護でのトルクとその考えかた	演習
【単元の評価方法】 ・出席時数・終講試験(30点満点)・学習態度(授業態度、意欲など)等からによる総合的に判断する。		
内容	コミュニケーション	講師名:江里口 晃世 看護師
【単元目標】 1. 看護におけるコミュニケーションについて考えることができる。 2. 患者－看護師関係の成立と発展の過程に影響を及ぼす要因を理解することができる。 3. 患者－看護師関係の成立に必要な基本的コミュニケーション技法を学び、他者に対する援助的関わりについて学ぶ。		
回数	講義内容	学習方法
1	コミュニケーションとは 先入観と偏見 ジョハリの窓 質問の方法	講義
2	ケアリング・コミュニケーションの特性による分類・対人距離とコミュニケーション	講義
3	治療的コミュニケーション	講義
内容	感染予防	講師名:間島 菜穂 看護師
【単元目標】 感染予防に関する基礎知識を学び、感染予防に必要な基礎技術を習得する。		
回数	講義内容	学習方法
1	感染予防の基礎知識	宮崎担当 講義
2	スタンダードプリコーションに基づいた感染予防策	講義
3	滅菌物の取り扱い・医療廃棄物の取り扱い	講義
4	手洗いの実際	演習
5	感染予防のための援助方法(必要な防護用具の選択・着脱)	演習
6	感染予防のための援助方法(無菌操作)	演習
7	終講試験	試験
【教科書】 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ・基礎看護学Ⅱ 医学書院 看護が見える Vol① 基礎看護技術 メディックメディア		
【参考書】 看護場面における感染防止 インターメディカ		
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター		
【評価方法】 筆記試験:感染予防(50点)+安全・安楽(30点) コミュニケーション(20点)=100点		

授業科目:生活を支える看護技術Ⅰ★	2 単位 46 時間	履修時期 1 年生前期
-------------------	------------	-------------

内容	活動・休息	講師名:大本 奈美 看護師
【単元目標】 活動と休息の生体リズムを理解し、日常生活の基礎となる体位と移動の援助技術を身につける。		
回数	講義内容	学習方法
1	活動の意義、運動がもたらす影響と効果、運動制限がまねく影響	講義
2	良肢位と基本肢位、姿勢・体位を保持する条件	講義
3	体位変換の援助方法、安楽な体位を体験してみよう	講義・演習
4	体位変換をやってみよう(自己で体位変換のできない患者さん)	校内演習
5	①枕の取り外し ②水平移動 ③仰臥位から側臥位へ ④仰臥位から端座	
6	移送・移乗の援助方法、立ちやすい姿勢	講義
7	移送・移乗をやってみよう(車椅子への移乗・移送、ストレッチャーでの移送)	校内演習
8	休息の意義、日常生活における休息・睡眠への援助	講義

内容	環境	講師名:塚本 由利子 看護師
【単元目標】 健康的な環境条件について理解し、対象に必要な生活環境の調整とその援助技術を身につける		
回数	講義内容	学習方法
	授業開始前にレジュメを配布し、テキストや看護がみえるを調べ、空欄を埋める (環境と看護の関係性、療養環境の基準、看護師の役割)	自己学習
1	環境と看護の『深い絆』を知ろう	講義
2	環境⇄ヒトの相互作用を体験しよう♪	体験学習
3	プレ演習【ベッドメイキング・シーツ交換】	演習
4	演習【ベッドメイキング①】	演習
5	演習【ベッドメイキング②】	演習
6	演習【シーツ交換①】	演習
7	演習【シーツ交換②】	演習
8	病室・病床の環境を調整してみよう①	GW
9	病室・病床の環境を調整してみよう②	GW
10	病室・病床の環境を調整してみよう③ まとめ	GW発表

内容	食事	講師名:濱田 花奈子 看護師
【単元目標】 食生活の意義を理解し、対象の食生活の援助を行うために必要な知識と技術を身につける。		
回数	講義内容	学習方法
1	食事・栄養の意義、アセスメント	講義
2	食事・栄養摂取に影響する要因、口腔ケア	講義
3	食事援助の実際	演習
4		
5	終講試験(活動・休息+環境+食事)	講義
【教科書】 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護が見える Vol① 基礎看護技術 メディックメディア		
【参考書】図書室にある各看護技術本		
【使用予定視聴覚機材】PC、プロジェク 技術動画		
【評価方法】筆記試験:活動・休息(35点)+環境(50点)+食事(15点)=100点		

授業科目:生活を支える看護技術Ⅱ★		2 単位 44 時間	履修時期 1 年生前期
内容	清潔・衣生活	講師名:間島 菜穂 看護師	
【単元目標】			
1. 衣生活の意義を理解し、療養生活における衣生活の援助の視点を学ぶ 2. 清潔の意義とその援助の目的を身体的・精神的・社会的視点から理解する 3. 寝衣交換・全身清拭・洗髪・足浴・手浴・整髪の方法を学び実施する 4. 清潔援助における安全・安楽・プライバシー保持の視点を理解する			
	講義内容	学習方法	
1	1、清潔にすることの意義について考える。 2、皮膚の構造と機能の視点から清潔について考える。 3、洗浄剤について	講義	
2	1、整容・衣生活を調整することの意義について考える 2、清潔援助の実際ー入浴	講義・GW	
3 4	1、清拭の基本技術 (温かさと寒気、湯温の調整、気持ちの良い摩擦刺激、タオルの使い方、羞恥心について、バス タオルの使い方) 2、寝衣交換の援助(基本ー応用:臥床で、座位で) 3、全身清拭と寝衣交換のデモンストレーション	校内演習	
5 6 7 8	1、臥床患者の全身清拭と寝衣交換の実施 事前に動画視聴・デモンストレーションを参考に事前学習しGで実施 温湯清拭は1回、タオルカバー方法を簡略化(教科書どおり) 泡清拭1か所、足関節以下も清拭 全身清拭のまとめ	校内演習・講義	
9	1、洗髪の意義 2、洗髪援助の目的と留意点 3、洗髪車の使用方法 4、洗髪チェアの使用法	講義・校内演習	
10 11 12 13	1、臥床患者の洗髪の実施 事前に動画視聴を参考に事前学習しGで実施 ベッド上臥床患者に対して洗髪車を用いての洗髪と、洗髪台と洗髪チェアでの洗髪を実施 洗髪のまとめ(安全・安楽・自立の視点から)	講義・校内演習	
14	1、足浴(臥床患者に対するベースン足浴)	講義・校内演習	
15	1、口腔ケア	講義・校内演習	
内容	排泄	講師名:間島 菜穂 看護師	
【単元目標】			
回数	講義内容	学習方法	
1	排泄の意義、排泄のしくみ	講義	
2	排泄のアセスメントと援助の実際、ポータブルトイレ	講義(実習室)	
3 4	排泄演習(床上排泄、おむつ装着)	校内演習(実習室)	
5	陰部洗浄演習	校内演習(実習室)	
6	排泄障害のある対象の援助	校内演習(実習室)	
7	排泄授業まとめ・終講試験	講義	
【教科書】			
系統看護学講座 基礎看護技術Ⅱ 医学書院。 看護が見える Vol① 基礎看護技術 メディックメディア 看護が見える Vol② 基礎看護技術 メディックメディア			
【参考書】			
【使用予定視聴覚機材】			
PC、プロジェクター			
【評価方法】			
筆記試験:清潔(40点)+排泄(40点)+技術評価(20点)=100点			

授業科目：診断・治療を支える看護技術 ★		江里口 晃世 講師名： 大本 奈美 看護師	Ⅰ 単位 30 時間 履修時期 2年生前期
【科目目標】 健康を障碍されている人の行われている診療や検査が円滑で効果的に進められるように診療の補助技術を習得する。			
回数	講義内容	学習方法	
1	[検査] 診療及び検査における看護師の役割	講義	
2	検査の種類と治療	講義・演習	
3	静脈血採血「目指せ!採血上手な看護師さん」		
4	静脈血採血	演習	
5			
6	[与薬] 薬剤に関する基礎知識・法律・与薬における看護の役割(毒薬・劇薬・麻薬の管理)	講義 演習	
7	様々な与薬方法と、看護(経口薬・経皮・外用薬・座薬)	講義 演習	
8			
9	皮下注射 指示の確認方法・アンプルの取り扱い方・薬液の吸い上げ方・注射部位の 選択方法・演習オリエンテーション	演習	
10	皮下注射の実際	演習	
11			
12	点滴注射 バイアルの扱い方・ミキシング方法・注射部位の選択方法・演習オリエンテーション	演習	
13	点滴注射の実際 点滴実施中の観察	演習	
14			
15	終講試験		
【教科書】 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 看護が見える Vol① 基礎看護技術 メディックメディア 看護が見える Vol② 基礎看護技術 メディックメディア 今日の治療薬 南江堂			
【参考書】 看護技術 プラクティス 学研			
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター			
【評価方法】 筆記試験:検査(30点)+与薬(70点)=100点			

授業科目：フィジカルアセスメント ★		島田 亜子 満田 幸士	I 単位 30 時間 履修時期	I 年次通年
【科目目標】看護活動を実践するために必要な看護行為の基礎となる判断技術を習得する 1、観察の必要性と的確に判断するための観察技術を身に着ける 2、フィジカルアセスメントの意義を理解し、患者の身体的状態を客観的に観察する基本的技術を身に着ける				
内容		フィジカルアセスメントⅠ 講師名：島田 亜子		
回数	講義内容			学習方法
1	バイタルサインとは 観察について、呼吸について			講義
2	循環（脈拍）について			講義
3	循環（血圧）について			講義
4	体温、意識状態について			講義
5	記録、報告について			講義
6	バイタルサインの実際			演習
7				
8	終講試験（実技）			試験
内容		フィジカルアセスメント2 講師名：満田幸士		
回数	講義内容			学習方法
1	フィジカルアセスメントとは			講義
2	フィジカルアセスメントの種類、技術、注意点			講義
3	呼吸器のフィジカルアセスメント			講義
4	循環器のフィジカルアセスメント			講義
5	フィジカルアセスメントの実際			演習
6				
7	終講試験			
【教科書】 系統看護学講座 専門 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 看護がみえる③ フィジカルアセスメント メディックメディア				
【参考書】				
【使用予定視聴覚機材】 パワーポイント				
【評価方法】 筆記試験：フィジカルⅠ(50点 技術点16点含む)+フィジカル2(50点)=100点				

授業科目：臨床判断と看護過程★		講師 島田亜子 加納里美 看護師	Ⅰ 単位 30 時間	履修時期	Ⅰ年生後期
【単元目標】 看護活動を実践するために必要な看護行為の基礎となる思考過程(看護過程)および臨床判断の導き方 を理解する					
回数	講義内容			学習方法	
1	1. 臨床判断と看護過程 臨床推論 クリティカルシンキング			講義	
2	2. 代表的な症状の看護を考える方法を理解する。(臨床推論) 1) 発熱			講義 GW	
3	3. 気づきを磨く演習			演習	
4					
5	4. リフレクション/終講試験			GW/試験	
6	5. 看護過程の構成要素			講義・GW	
7	6. 情報収集と分析			講義・GW	
8	7. 事例展開 1) アセスメントⅠ			講義・GW	
9					
10					
11	8. 事例展開 2) 関連図 3) アセスメントⅡ			講義・GW	
12					
13	9. 事例展開 4) 看護計画 5) 記録			講義・GW	
14					
15	10. 実践・評価/終講試験			演習/試験	
【教科書】 系統看護学講座 基礎看護技術Ⅰ 医学書院.. アセスメントに自信が付く 臨床推論入門 MCメディカ出版 看護過程に沿った対症看護 学研メディカル秀潤社 その他Ⅰ年次の学習で使用した教科書					
【参考書】 その都度、授業で紹介する。					
【使用予定視聴覚機材】 PC、プロジェクター					
【評価方法】 筆記試験(50点)+レポート評価(50点)=100点					